

令和2年度
第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画
実施状況報告書

経済局商工部 産業振興課

*** 目 次 ***

令和2年度 第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について	1
1 経 緯	1
2 基本計画の概要	1
3 実施状況等	2
(1) 方針ごとの実施状況	4
①方針1 企業の誘致と留置の推進	4
②方針2 新市場・販路開拓に対する支援	5
③方針3 新製品・技術開発等に対する支援	7
④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化	8
⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成	11
⑥方針6 伝統工芸技術の保存・継承	13
(2) 実施状況の総括	14
4 各事業の進実施状況管理個票	17

令和2年度 第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項について報告いたします。

1 経 緯

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）は、平成23年3月に議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、同条例第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会及び関係機関と連携を図りながら、平成24年7月、「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を目標に掲げ策定しました。

その後、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、継続的にものづくり産業の振興を推進するため、第3次静岡市総合計画及び第2次静岡市産業振興プランとの整合を図り、平成27年3月に第2次基本計画を策定し、計画目標の達成に向け取り組んできました。

この第2次基本計画が平成31年3月に満了したことから、これまでの基本計画と同じく、条例の目的に定めるとおり「ものづくり産業の振興を総合的かつ計画的に推進し、もって地域経済の健全かつ持続的な発展及び市民生活の向上に寄与する」ことの達成に向けて、平成31年4月に第3次基本計画を施行しました。

2 基本計画の概要

基本計画については、条例に掲げる趣旨の具現化に向けたプロセスであることから、計画目標を支える6つの方針に基づき全21の事業を設けました。

根 拠 法 令	静岡市ものづくり産業振興条例第8条第1項（基本計画の策定等）
計 画 期 間	平成31～令和4年度（4か年度）
策 定 目 的	本市ものづくり産業の総合的かつ計画的な振興を図るため
計 画 構 成 等	(1) 計画目標 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡 (2) 方 針 方針1 … 企業の誘致と留置の推進 方針2 … 新市場・販路開拓に対する支援 方針3 … 新製品・技術開発等に対する支援 方針4 … 中小企業の経営基盤・競争力の強化 方針5 … 次代を担う多様な人材の育成 方針6 … 伝統工芸技術の保存・継承 (3) 事 業 各事業の成果目標及び事業実績一覧表のとおり

基本計画の実施主体については、計画目標の達成に向けた事業を実施する担当課として、経済局商工部3課（産業政策課、産業振興課、商業労政課）に加え、男女共同参画課、高齢者福祉課、中山間地振興課、教育センターが基本計画の推進に取り組んでいます。

事業担当課では、方針や施策を踏まえるとともに、計画目標を達成するための成果目標のもとで、効率的かつ効果的な事業運営に努めました。

3 実施状況等

基本計画は、前項のとおり、計画目標の達成に向けて体系化が図られたものであるため、その実施状況にあたっては、一事業の実施状況を注視するだけでなく、計画目標を実現させるために掲げた方針の実施状況を捉えることで、計画全般を総合的に把握する必要があります。そのため、今回の報告では、図1のとおり、6つの方針を基本的な枠組みと捉えるとともに、6つの方針の中に位置付けられた各事業に関する実施状況をもとに、方針ごとの実施状況を把握しています。その後、それぞれの方針に関する実施状況を総合的に判断した結果をもとに、基本計画全体の実施状況を包括的に評価しています。

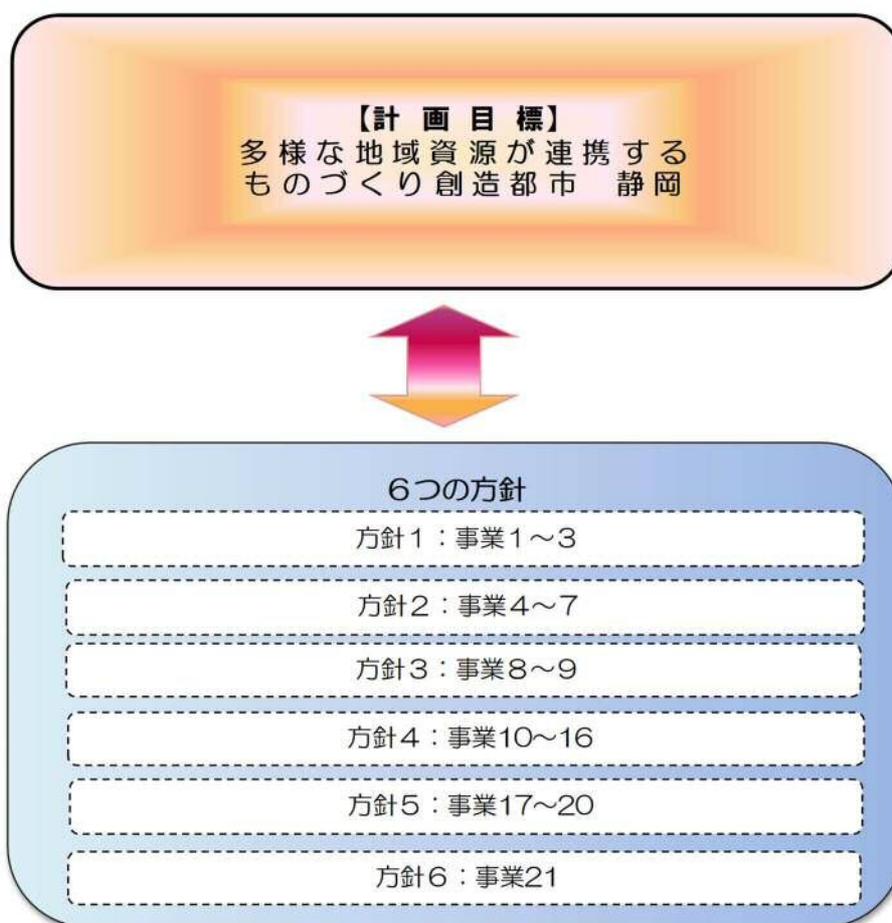


図1 基本計画体系図

各重点項目及び方針の実施状況を把握するため、各種事業の成果目標に対する達成状況等につい

て、表1のとおり評価しています。なお、数値目標を設けている事業については、事務事業総点検表の評価基準に倣い、「S」から「C」までの4段階による評価を実施し、数値目標を設けていない事業については、「※」として区分しています。

事業評価	成果目標に対する達成状況等
S	期待を上回る（105%以上）
A	期待どおり（90%以上 105%未満）
B	期待を下回る（70%以上 90%未満）
C	期待を顕著に下回る（70%未満）
※	数値目標を設けていない

表1 成果目標に対する各種事業の達成状況等

その後、各種事業の成果目標に対する達成状況等を方針ごとに取りまとめ、方針別実施状況について表2のとおり評価しています。

方針別評価	方針別実施状況の評価
◎	期待を上回る（S+Aの割合が90%以上 100%以下）
○	期待どおり（S+Aの割合が70%以上 90%未満）
△	期待を下回る（S+Aの割合が50%以上 70%未満）
×	期待を顕著に下回る（S+Aの割合が50%未満）

表2 方針別実施状況の評価

(1) 方針ごとの実施状況

①方針1 企業の誘致と留置の推進

方針1は、表4のとおり、数値目標を設定している2事業のうち、1事業が「S」評価、1事業が「B」評価となったことから、方針別実施状況の評価を「B（期待を下回る）」としています。

事業1の「企業立地の推進」については、年間を通して積極的な企業訪問に取り組み、企業ニーズの把握に努めるとともに、企業にとって有益な情報提供（物件情報の提供等）を実施したり、助成制度の活用を促したりするなど、企業立地の促進に努めています。令和2年度は、テレワークの推進による地方移転ニーズを取り込むため、新たな助成制度を設けるとともに、情報発信等で県や東京事務所と連携し、首都圏からの企業誘致に成功した。また、企業ニーズに合わせて助成制度の見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施した結果、新規企業立地の年間目標件数を上回る26件の立地に成功しました。

また、事業3－(1)の「「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援」については令和2年度から「電気機械器具製造業」や「食品・化粧品製造業」等の5分野の業種を対象に、上記事業計画の承認により市街化調整区域内への企業立地を可能とする新たな基準が設けられたため、新たな設備投資を計画している企業に対し、同計画の作成を促しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による企業の設備投資意欲の減退等により、成果指標の件数を満たさない結果となりました。引き続き、設備投資を検討している企業に対して、個別に制度説明を行う等、制度の積極的な情報発信や新規事業の発掘を引き続き実施していくとともに計画作成相談を受けた企業に対して、個別に企業訪問等を行い企業と直接対話をしながら作成支援を行う等、きめ細やかに対応していきます。

方針・事業	成果指標	令和2年度 事業結果	事業評価
方針(1) 企業の誘致と留置の推進			
事業1 企業立地の推進	新規企業立地件数17件	新規企業立地件数26件	S
事業2 恩田原・片山土地区画整理事業 ★	組合、コーディネーターと連携した企業立地の推進	組合、コーディネーターと連携した企業立地の推進	※
事業3 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 ★			
(1) 「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援	地域経済牽引事業計画承認件数 10件	地域経済牽引事業計画承認件数 7件	B
(2) 「重点促進区域」の開発の実現化	新たに設けられた開発許可基準の円滑な運用に向けた関係部局との協議調整	新たに設けられた開発許可基準の円滑な運用に向けた関係部局との協議調整	※

表3 方針1の実施状況等

②方針2 新市場・販路開拓に対する支援

方針2については、表5のとおり、数値目標を設定している11項目（8事業）のうち、3項目が「S」評価、2項目が「A」評価となったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

事業4の「全国規模等の見本市への出展助成等」については、市内中小製造事業者が全国的な規模の展示会や見本市に出展する際の小間料等を支援する「大規模展示会出展等事業補助金」と、大規模な集客が見込まれる日本最大級の機械要素・加工技術を集めた専門技術展示会である「第25回 機械要素技術展（幕張メッセ）」に市内企業と共同で出展を行う「大規模展示会共同出展事業」に取り組みました。

「大規模展示会出展等事業補助金」については、主に金融機関を通じ制度の周知を実施、補助金の利用企業が目的意識を持ち各社出展を行ったことで目標を上回る商談成約率となりました。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の流行の影響により展示会・見本市の開催が減少傾向にあります。経済の回復期を見据えた補助要件の緩和等に取り組み、事業者組合等へも利用促進のための周知に努めていきます。

「大規模展示会共同出展事業」については、ブース装飾により視認性の良いデザインを採用しました。新型コロナウイルスの影響により、来場者数は大幅に減少した一方で、来場するバイヤーの本気度は高く、平常開催時に比べてブースでの商談対応時間が十分に取れ、また、共同出展事業者も積極的な営業活動を行ったことで、目標を上回る商談成約率となりました。令和3年度においては「第26回 機械要素技術展（東京ビッグサイト）」に出展し、市内企業の販路開拓支援を継続するとともに、より効果的なブース運営の検討も進めていく予定です。

事業6－（1）の駿府楽市によるPR・販売促進支援については、JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間23回の展示会を開催しました。コロナ禍で来客数及び売上金額が減少すると予定していましたが、インテリア商品や雑祭りなどの季節イベント商品などといった、充実したおうち時間を提案する企画展示を開催したことで、当初目標の売上金額を上回ることができました。今後も来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するために、効果的な新型コロナウイルス感染症対策を図るとともに、ウィズコロナ時代に適したPRに努めていきます。

方針・事業	成果指標	令和2年度 事業結果	事業評価
方針(2) 新市場・販路開拓に対する支援			
事業4 全国規模等の見本市への出展助成等	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①大規模展示会出展等事業補助金12.5% ②大規模展示会共同出展事業7%	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合） ①11.3% ②12.5%	A S
事業5 首都圏におけるプロモーション強化			
(1) アンテナショップ開設事業 ★	—	—	※
(2) ホビー産業育成支援事業	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%以上	「ホビーのまち静岡」の認知度 81%	S
(3) 伝統工芸品等の展示販売会	新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響により中止	※
事業6 地場産品の販路開拓・販売促進			
(1) 駿府楽市によるPR・販売促進支援	隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 24,597千円	隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 24,988千円	A
(2) 「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援 ★	平均来場者数 1,670人	平均来場者数 1,250人	B
(3) 「産業フェアしずおか」開催補助金	来場者数 32,000人	来場者数 14,800人	C
事業7 中小企業の海外展開に対する支援			
(1) 国際食品見本市の出展等による支援 ★	①見本市 1件 ②間接輸出 商談成約12件	①見本市 1件 ②間接輸出 商談成約15件	※ S
(2) 海外で開催される見本市への出展助成等	新型コロナウイルスの影響により、大規模展示会出展等事業補助金を活用して海外展示会への出展を行った企業は無し	新型コロナウイルスの影響により、大規模展示会出展等事業補助金を活用して海外展示会への出展を行った企業は無し	※

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに記載された事業を示しています。

表5 方針2の実施状況等

③方針3 新製品・技術開発等に対する支援

方針3については、表6のとおり、数値目標を設定している4事業のうち、事業評価が「A」となった事業が2項目、「B」となった事業、「C」となった事業が各々1項目であったことから、方針別実施状況の評価を「△（期待を下回る）」としています。

事業8－（2）の「デザイナー等とのコラボレーションに対する支援」においては、「ニューウェーブしずおか開発事業」を実施しました。評価が「B」となった「ニューウェーブしずおか開発事業」は、意欲的地場産業者がプロデューサー指導のもと、公募デザイナーとの協働によりデザイン開発を実施する事業です。令和2年度は参加事業者、公募デザイナーそれぞれ6者により22点の開発を行い、HP等で告知したうえで「つなぐデザインしずおか静岡展示会」に出展し、販路開拓を実施しました。目標点数には達しなかったものの、開発点数は開発を行う内容により大きく上下するため、必ずしも少ない点数とは言えない結果と考えられます。今後は開発品の商品化を図っていきます。

評価が「A」となった事業8－（2）の「専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施」では、専門家による指導のもと、中小企業が新商品開発から販売まで一貫したマーケティング手法を学ぶ「静岡おみやプロジェクト」により、新商品開発のノウハウ習得等を支援し、マーケティングに基づいた6商品が完成しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、発表会をオンラインで実施しましたが、商品を手にとれないため、通常時にはバイヤーとの商談を併せて行うが、令和2年度では実施できなかったため、コロナ禍の状況を踏まえた商品発表・バイヤーとの商談の方法について今後検討を進めていきます。

方針・事業	成果指標	令和2年度 事業結果	事業評価
方針（3）新製品・技術開発等に対する支援			
事業8 新商品開発等に対する支援			
(1) 新商品開発等に対する助成	新商品等開発支援件数 13件	新商品等開発支援件数 8件	C
(2) デザイナー等とのコラボレーションに対する支援	(ニューウェーブ) 開発点数30点	開発点数22点	B
(3) 専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施	支援件数6件	支援件数6件	A
事業9 産業財産権出願に対する助成	産業財産権出願支援件数 13件	産業財産権出願支援件数 13件	A

表6 方針3の実施状況等

④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化

方針4に掲げる事業については、表7のとおり、18項目（14事業）のうち、数値目標が設けられているものは14項目であり、事業評価「S」が5項目、「A」が5項目、「C」が4項目であったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」と評価しています。

評価が「S」となった事業10-（1）「事業高度化機械設備設置事業補助金」は、中小製造事業者に対して、生産性の向上を目的とする機械設備の設置費用に対して助成を行うことで、地域の産業の活性化及び高度化を図るものです。金融機関や支援団体等を通じて制度の周知を実施、申請手続きの支援を行うとともに課題のヒアリングも実施し、本補助金以外の支援にもつなげられるよう取り組みました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内中小製造事業者に対してより効果的な支援を行うため、補助率を5%から10%に引き上げました。

製造業全体において加工技術の高度化が急速に進み、この傾向に対する機械設備の最新化による対応が市内事業者の課題となっているため、ニーズヒアリングにより需要の掘り起こしを図っていきます。

評価が「S」となった事業10-（4）「IT技術の活用・促進に関する検討」については、静岡商工会議所と連携した「ITなんでも相談窓口」の設置、窓口相談、巡回指導、セミナーの実施等によりIT導入の促進と支援に努めた結果、支援件数は360件と目標である150件を大きく上回りました。今後もポストコロナのビジネスモデルに対応すべく、デジタル活用に向けた相談ニーズが多く見込まれることから、各種デジタル関連の支援体制の強化を図っていきます。

事業13の「企業OB人材の活用」については評価が「A」となりました。経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験や知識を有する主に大企業のOB（＝新現役）のマッチングを目的とした「新現役交流会」を開催しました。令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響により、対面での交流会が困難であることから、Zoomを活用したオンライン面談にて実施しました。その結果、参加した新現役は96名と過去最大となりました。多くの新現役が交流会に参加することがマッチング率や満足度の増加に繋がることから、次年度においてもオンライン面談での開催とし、交流会当日に起こり得るトラブルへの対策と新現役参加に繋がる周知活動にも注力していきます。

評価が「A」となった事業15-（2）の地域産業振興ブランド認証事業は、市民投票で「100年先まで大切に残していきたい逸品」として選ばれた商品を「しずおか葵プレミアムAWARD」として認証し、PRや企業支援を行うことで、本市のシティプロモーションの推進及び地域経済の活性化を図っていくものです。しずちかでのPR展示をはじめ、展示販売会等を6回実施しました。今後も認証商品の認知度及び売上向上を図るため、販売場所（ECサイト・アンテナショップ等）の確保とPR及び今後の効果的な事業展開のための制度の見直しを実施していきます。

方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化			
事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援			
(1) 事業高度化機械設備設置事業補助金	機械設備設置支援件数 30件	機械設備設置支援件数 35件	S
(2) 現場改善支援事業 ★	現場改善支援の実施	現場改善支援の実施	※
(3) 生産性向上特別措置法に係る 先端設備等導入計画の認定 ★	新規認定件数 150件	新規認定件数 73件	C
(4) IT技術の活用・促進に関する検討 ★	IT導入に関する支援件数 150件	IT導入に関する支援件数 360件	S
事業11 事業承継に対する支援 ★	専門家派遣を通じた支援 件数 80件	専門家派遣を通じた支援 件数 83件	A
事業12 中小企業融資制度による支援	融資制度申込件数 1,000件	融資制度申込件数 490件	C
事業13 企業OB人材等の活用 ★	マッチング率 60% (参加企業のうち、人材の 支援を受け入れた企業の割 合)	マッチング率 55% (参加企業のうち、人材の 支援を受け入れた企業の割 合)	A
事業14 中小企業等の表彰事業			
(1) CSR活動表彰事業	※新型コロナウイルスの影響 下につき事業を中止	※新型コロナウイルスの影響 下につき事業を中止	※
(2) 中小企業者技術表彰事業	※新型コロナウイルスの影響 下につき事業を中止	※新型コロナウイルスの影響 下につき事業を中止	※
(3) 多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 ★	※新型コロナウイルスの影響 下につき事業を中止	※新型コロナウイルスの影響 下につき事業を中止	※

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業を示しています。

表7 方針4の実施状況等（次項に続く）

方針・事業	成果指標	令和2年度 事業結果	事業評価
方針（4）中小企業の経営基盤・競争力の強化			
事業15 本市に根ざした産業のブランド化			
(1) 「ホビーマチ静岡」推進事業	①「ホビーマチ静岡」の認知度 30% ②静岡ホビースクエア来場者数 35,019人 ③プラモデルが好きになった児童の割合 90%	①ホビーマチ静岡の認知度81% ②静岡ホビースクエア来場者数 22,704人 ③プラモデルが好きになった児童の割合 84%	S C A
(2) 地域産業振興ブランド認証事業	展示販売会等実施回数 6回	展示販売会等実施回数 6回	A
(3) オクシズ「漆-japan-の里」構想事業 ★	漆植樹面積0.5ha	漆植樹面積1.34ha	S
事業16 地場産品の情報発信・愛用推進	①駿府楽市での工芸品の年間売上額24,597千円 ②駿府匠宿来場者数 270,000人 ③駿府匠宿利用者満足度 90%以上	①駿府楽市での工芸品の年間売上額24,988千円 ②駿府匠宿来場者数 57,050人 ③駿府匠宿利用者満足度 99.6%	A C A

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

表7 方針4の実施状況等（前項から続く）

⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成

方針5では、表8のとおり、数値目標を設定している8項目（9事業）について、4項目が「S」評価、4項目が「A」評価、1項目が「C」評価となったことから方針別実施状況の評価を「○（期待をどおり）」としています。

「A」評価となった事業17-（2）「ものづくり教育推進事業」については、ものづくりへの関心を高めるとともに、次世代のプラモデルファン獲得に向けて、市内の小学校に対してプラモデルをテーマにした出前授業を実施しており、授業に参加した84%の児童からプラモデルを好きになったとの回答がありました。

次年度は、プラモデルに加え、その他静岡市を代表するものづくり産業をメニューに加えていくとともに、小学校側が本事業を教育的な観点に落とし込み、能動的に授業を受けとめられるようにしていくため、対象学年に応じ、キャリア教育的観点から学習する内容とものづくりの面白さを学ぶ内容にメニュー化することで、引き続きブランド力のある地域資源を活用した「ホビーのまち静岡」を推進していくとともに、模型メーカーや関係機関と連携することで小学生等を対象とした「ものづくり教育」に取り組んでいきます。

「S」評価となった事業18-2「若者の地元就職・U I J ターン就職の促進事業」は、地元就職並びに、U I J ターンを志す若者をはじめ、市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決を図ることを目的として、若者就活応援サイト「しずまっち」等の様々なツールを活用し、若者が市内企業への就職を将来の選択肢として捉えることができるよう取り組む事業です。令和2年度は交流会、就職支援情報誌や高校生向けキャリア育成プログラム等を実施し、市内企業への高い就職関心度を引き出したり、生徒の将来の選択肢の広がりを持たせたりすることに寄与できたと考えています。

引き続き、高校生など早期のキャリア形成に取り組むとともに、同窓会就職支援情報誌としずまっちの回遊性を高め、相乗的に市内企業への関心度の向上を図っていきます。

「S」評価となった事業18-7「働き方改革の実現に向けた環境整備の推進」は、働き方改革に取り組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等により、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図る事業です。令和元年度は主に「ダイバーシティ経営推進セミナー」として、経営者向け1回、管理職向け2回、従業員向け2回を開催し、総勢延べ126名に参加いただきました。参加者の満足度は96.5%、「ダイバーシティに取り組みきっかけとなった」と回答した企業は90%となりました。今後、新型コロナウイルス感染症の状況によって開催方法を検討し、参加者同士の交流や情報共有の時間を持つことができるような内容としていくとともに静岡県等との棲み分けを考慮し、テーマや対象について検討していきます。

方針・事業	成果指標	令和2年度 事業結果	事業評価
方針(5) 多様な産業人材の確保・育成			
事業17 ものづくり体験・学習機会の提供			
(1) 駿府匠宿での地場産品体験学習事業	体験学習申込児童数： 3,220人	体験学習申込児童数： 2,126人	C
(2) ものづくり教育推進事業 ★	ものづくり教育推進事業の結果、プラモデルが好きなようになった児童の割合 90%	ものづくり教育推進事業の結果、プラモデルが好きなようになった児童の割合 84%	A
(3) こどもクリエイティブタウンでの職場体験等	商店街をはじめとした地元事業者等と連携し、こどもに様々な体験をできる場を提供する。	商店街をはじめとした地元事業者等と連携し、こどもに様々な体験をできる場を提供する。	※
(4) プログラミング教育推進事業 ★	教員向けの研修の実施。	5回の小学校プログラミング研修会等プログラミング教育の実施に向けた研修を実施。	※
事業18 多様な人材の就労に対する支援			
(1) 若者の就労支援事業 ★	親と若者の就労支援セミナー参加者満足度	親と若者の就労支援セミナー参加者満足度 95.3%	A
(2) 若者の地元就職・U I Jターン就職の促進事業 ★	①市内企業への就職関心度 ②将来の選択肢が広がった生徒の割合	①市内企業への就職関心度94% ②将来の選択肢が広がった生徒の割合97.5%	A A
(3) 企業OB人材の活用【再掲】 ★	マッチング率 60% (参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合)	マッチング率 55% (参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合)	A
(4) 高齢者就労促進事業 ★	高齢求職者の雇用・就業数 100名	高齢求職者の雇用・就業数 183名	S
(5) 女性活躍ブランド認証事業 ★	ブランドの認定を行うとともに情報発信を行う。	認定件数8件 イベント・各種メディアによる情報発信	※
(6) 首都圏の女子学生を対象とした就労支援 ★	就職関心度90%以上	就職関心度100%	S
(7) 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 ★	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 80%以上	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 90%	S
事業19 若手職人の育成事業	新規制度利用者数 ・長期支援2人 ・独立支援0人	新規制度利用者数 ・長期支援2人 ・独立支援1人	S
事業20 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進【再掲】 ★	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 80%以上	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 90%	S

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに掲載された事業を示しています。

表8 方針5の実施状況等(次項に続く)

⑥方針6 伝統工芸技術の保存・継承

方針6では、表9のとおり、数値目標を設定している4項目（5事業）について、「S」評価が1項目、「A」評価が1項目、「B」評価が1項目、C評価が2項目となったことから、方針別実施状況の評価を「場×（期待を顕著に下回る）」としています。

評価が「A」となった事業21-（1）の「伝統工芸技術アーカイブス事業」は、熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術に対する保存・継承の取り組みとして、消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図る事業です。令和2年度は駿河漆器の技術を保持する職人の技術工程の映像を制作しました。

各業界により後継者数や職人数など事情が異なるため、事情を把握しつつ調整を行っていくとともに、技術保有者の健康状態は今後も確実とはいえないため、期間を置かず確実な保存を図っていく必要があります。一方で、アーカイブ技術は各保有職人個人の技術でもあり安易な公開はできないため、保持者との協議もしっかりと行う必要もあります。

評価が「C」となった事業21-（3）「伝統工芸技術秀士の顕彰」は、本市の伝統工芸の技術を継承するため優れた技術の保持者を顕彰し、そのPRを行う事業ですが、各伝統工芸業界において、高度な技術を有し、伝統工芸展等へ積極的に出展し技術研鑽に励む職人は高齢化等により大幅に減少している現実もあり、安易に対象者を広げすぎると指定制度の根幹が曖昧になりかねないため、令和2年度は指定を見送りました。

今後は中堅職人の中で有望視される職人を模索していくことも必要ですが、人的に限りがあるため、対象者の幅については検討していく必要があると考えています。

方針・事業	成果指標	令和2年度 事業結果	事業評価
方針（6）伝統工芸技術の保存・継承			
事業21			
伝統工芸技術の保存・継承			
(1) 伝統工芸技術アーカイブス事業 ★	映像化本数 1本	映像化本数 1本	A
(2) 伝統工芸保存講習会の開催	開催部門：5部門 参加者数：38名	開催部門：4部門 参加者数：23名	B C
(3) 伝統工芸技術秀士の顕彰	秀士の指定者数：1名	秀士の指定者数：0名	C
(4) オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】 ★	漆植樹面積0.5ha	漆植樹面積1.34ha	S
(5) 地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承 ★	市内唯一の職人の技術を 伝承するための取組の実施	活動拠点を井川に移し、本格的なメンバ製造を開始。 イベントで展示販売を実施	※

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業を示しています。

表7 方針6の実施状況等

(3) 基本計画実施状況の総括

基本計画の実施状況に関しては、表9のとおり、6つの方針のうち3つの方針において「○(期待どおり)」の評価となりました。

表10のとおり、評価区分別に見ると「S」評価が13項目、「A」評価が14項目と、数値目標を設けた全項目数に対するS及びA事業数の割合が67.5%を占めていることから、基本計画全体としては、「十分に進捗が図られている」と捉えています。

また、本計画の目標は「計画最終年度(令和4年度)末時点の製造品出荷額等 2兆円」と設定していますが、「2020年工業統計調査」の本市における製造品出荷額等の上位5分類は「電気機械(対前年比8.9%増)」「食料品(同4.3%減)」「非鉄金属(同10.9%減)」「はん用機械(同2.2%増)」「化学工業(5.4%増)」であり、全体の製品出荷額等は2兆1,202億円(昨年度比0.1%減)と前年を下回るものの当計画の目標値を達成しております。

しかしながら、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う経済活動の停滞が続いており、本市内の事業所に対しても大きな影響を及ぼしていることから、企業のニーズを確認しながら、適時適切な支援が行えるよう取り組んでいきます。

方針	事業評価	該当事業数	事業評価の割合	「期待どおり」(S+A)以上の事業の割合	実施状況の評価
方針1 (2項目)	S	1	50.0%	50%	△
	A	0	0.0%		
	B	1	50.0%		
	C	0	0.0%		
	※	2			
方針2 (12項目)	S	3	42.9%	71%	○
	A	2	28.6%		
	B	1	14.3%		
	C	1	14.3%		
	※	4			
方針3 (5項目)	S	0	0.0%	50%	△
	A	2	50.0%		
	B	1	25.0%		
	C	1	25.0%		
	※	0			
方針4 (18項目)	S	5	35.7%	71%	○
	A	5	35.7%		
	B	0	0.0%		
	C	4	28.6%		
	※	4			
方針5 (14項目)	S	4	44.4%	89%	○
	A	4	44.4%		
	B	0	0.0%		
	C	1	11.1%		
	※	3			
方針6 (5項目)	S	1	20.0%	40%	×
	A	1	20.0%		
	B	1	20.0%		
	C	2	40.0%		
	※	1			
方針別 実施状況の 評価	S+Aの割合が	■90%以上 : ◎ (期待を上回る) ■70%以上90%未満 : ○ (期待どおり) ■50%以上70%未満 : △ (期待を下回る) ■50%未満 : × (期待を顕著に下回る)			

表9 方針別実施状況の評価

評価区分	該当事業数	数値目標のある事業に占める割合	左記のうち「期待どおり」(S+A)となった事業の割合
S	13	33%	67.5%
A	14	35%	
B	4	10%	
C	9	23%	
※	14		
計	54		

表 10 評価区分別の事業数の割合等

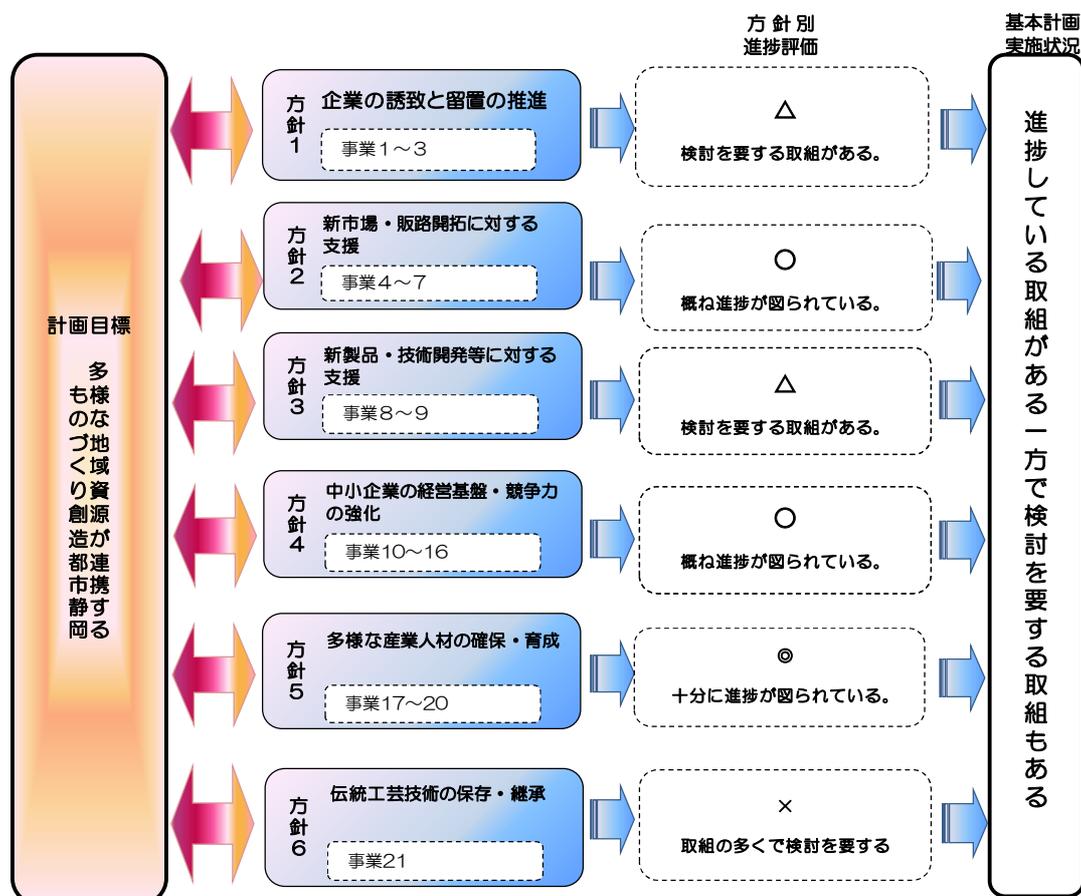


図 2 方針別実施状況の評価に基づく第2次基本計画の進捗状況

(添付資料)

各事業の実施状況管理個票

(P18~67)

4 各事業の実施状況管理個票

ものづくり基本計画	方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和２年度	
事業名	事業１ 企業立地の推進	予算額	550,200 千円	
		決算額	462,048 千円	
事業概要	<p>地域の産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図るため、本市の特性を活かした「清水港・ロジスティクス」などの戦略産業の集積や、地方創生の一環である企業の本社機能の移転等による、企業の誘致と留置を推進します。</p> <p>具体的には、工場等の設置に係る用地取得費や設備投資費や事務所の賃借に対する助成を行うほか、本市の立地優位性や利便性、優遇施策等についての情報発信・PR活動を、東京事務所と連携して実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めている。</p> <p>令和２年度は、テレワークの推進による地方移転ニーズを取り込むため、新たな助成制度を設けるとともに、情報発信等で県や東京事務所と連携し、首都圏からの企業誘致に成功した。</p> <p>引き続き、企業へのヒアリングを基に、ニーズに合わせた助成制度へと見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担当するなど、企業に寄り添った支援を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規企業立地件数 26件 ・市内企業訪問 273件 ・市外企業訪問 28件 ・企業立地相談件数 317件
成果目標	(新規企業立地件数) 17件			
総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	(新規企業立地件数) 17件 26件
	政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価	次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等	テレワークの推進による地方移転ニーズを取り込むため、東京事務所や県との連携強化を図るとともに、経済状況や企業ニーズに応じた制度の見直しに取り組む。
	施策 企業の誘致と留置の推進			
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流			
	政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
	施策 企業の誘致と留置の推進			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係	その他 (特記事項)		

ものづくり基本計画		方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和２年度	
事業名	事業２ 恩田原・片山土地区画整理事業	予算額		千円	
		決算額		千円	
事業概要	東名新スマートＩＣの効果を最大限に生かすため、大谷・小鹿ランドデザインで「工業・物流エリア」に位置付けられた恩田原・片山地区において区画整理手法による都市基盤整備を進め、産業集積方針に基づく企業立地を推進します。	取組状況	事業結果	<p>■ 進出企業の誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により、当初計画していた進出企業の決定に影響が生じているものの、事業コーディネータと連携した企業誘致活動を実施することで企業ニーズを捉え企業立地の実現を推進した。 <p>■ 補助制度の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業集積方針に基づく企業の立地を誘導するため、恩田原・片山地区に特化した新たな企業立地補助金制度要綱の策定に着手した。 <p>■ 局間連携による事業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進出企業の誘致活動に併せて、用地の創出が着実に進むよう、都市局が土地区画整理事業の進捗管理等を実施し、局間連携による企業立地実現を推進した。 	
成果目標	組合、コーディネータと連携した企業立地の推進				
2	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R3.3.31 現在	組合、コーディネータと連携した企業立地の推進	100 (%)
	産業振興プラン位置付け	政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>・新型コロナウイルスの感染拡大により、当初計画していた進出企業の決定に影響が生じている。</p> <p>・進出を希望する企業がある区画については、着実に立地を実現するために、事業コーディネータに対して、早期に用地契約の手続きを進めるよう働きかける。</p> <p>・その他の区画については、引き続き事業コーディネータとの情報交換や用地の情報発信、企業の立地ニーズの掘り起こしを行い、産業集積方針に沿った企業立地実現を推進する。</p>	
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係 立地環境整備係	その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和２年度	
事業名	事業３ 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 （１）「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援	予算額		千円	
		決算額		千円	
事業概要	(1)地域未来投資促進法「地域基本計画」に沿って承認した、地域特性を活かして、付加価値の高い事業に取り組む「地域経済牽引事業」のうち、工場建設などの立地が伴う案件に対して、設備投資に係る課税の特例措置や、金融機関の低利融資制度などの優遇制度を活用して、効果的に企業立地を支援します。	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■「地域経済牽引事業計画」承認件数 「静岡市地域基本計画」に基づく承認件数：1件 「静岡市戦略産業等支援強化地域基本計画」に基づく承認件数：6件 ■「地域未来投資促進税制」の活用 ・課税特例のための先進性確認申請件数：8件 ■「地域経済牽引事業」の案件発掘 ・令和２年度から「電気機械器具製造業」や「食品・化粧品製造業」等の5分野の業種を対象に、上記事業計画の承認により市街化調整区域内への企業立地を可能とする新たな基準が設けられたため、新たな設備投資を計画している企業に対し、同計画の作成を促した。 	
成果目標	地域経済牽引事業計画承認件数：10件				
3	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R3.3.31 現在	地域経済牽引事業計画承認件数：10件	7(件)
	産業振興プラン位置付け	政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大による企業の設備投資意欲の減退等により、成果指標の件数を満たさない結果となった。 ・設備投資を検討している企業に対して、個別に制度説明を行う等、制度の積極的な情報発信や新規事業の発掘を引き続き実施していく。 ・計画作成相談を受けた企業に対して、個別に企業訪問等を行い企業と直接対話をしながら作成支援を行う等、きめ細やかな対応を実施する。 ・地域基本計画に基づき共同して支援する立場にある支援機関の優遇制度なども、積極的に企業に紹介するなどのマッチングを行う。 	
		施策 企業の誘致を留置の推進			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 立地環境整備係	その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和２年度	
事業名	事業３	地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 （２）「重点促進区域」の開発の実現化	予算額	千円	
			決算額	千円	
事業概要	<p>（２）企業立地の受け皿となる用地確保のための取組として、地域基本計画の中で、重点的に地域経済牽引事業の促進を図る「重点促進区域」に位置付けた開発候補地に対して、規制の特例措置の活用や開発に向けた関係部署との協議・調整などを実施し、開発の実現化を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<p>■ 進出検討企業の発掘 ・市及び県HPで用地情報を公開し、PRを行った。 ・令和２年度から「電気機械器具製造業」や「食品・化粧品製造業」等の５分野の業種を対象に、市街化調整区域内への企業立地を可能とする新たな基準が設けられたため、この基準を活用し、重点促進区域に進出を希望する企業ニーズの掘り起こしを実施した。</p> <p>■ 開発に係る関係部署との協議・調整 ・開発に向けた関係部署を集めての合同会議や個別の打合せを実施し、開発における課題解決の検討を進めた。</p>
成果目標	新たに設けられた開発許可基準の円滑な運用に向けた関係部局との協議調整				
3	総合計画の位置付け（分野別）	分野 商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	新たに設けられた開発許可基準の円滑な運用に向けた関係部局との協議調整
	産業振興プラン位置付け	政策	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>・個別説明やチラシの配布、ホームページ等への掲載による用地の積極的な情報発信により、進出を検討する企業ニーズの掘り起こしを引き続き実施する。</p> <p>・企業の進出が具体化した案件については、開発許可に向け関係部署との協議・調整を実施し、開発の実現化を図る。</p>
		施策			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 立地環境整備係		その他（特記事項）		

ものづくり基本計画		方針（２）新市場、販路開拓に対する支援		令和２年度	
事業名	事業４ 全国規模等の見本市への出展助成等	予算額		14,440 千円	
		決算額		4,499 千円	
事業概要	<p>中小製造事業者の販路開拓支援や製造業の振興・発展を図るため、全国的な規模の展示会・見本市等への出展や開催に対して助成します。</p> <p>また、「ものづくり産業が盛んなまち」として本市の存在感を高めるため、本市経済を支える基盤産業及び本市を牽引していく可能性を秘めた戦略産業に該当する企業と共同で国内最大の展示会である「機械要素技術展」に出展し、本市ものづくり産業のPR及び市内企業の販路開拓支援を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>①大規模展示会出展等事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ■申請件数：33件 名刺交換数（確認できたもの）2,349件 商談に進んだ件数 265件 ■新型コロナウイルスの影響により、海外展示会への出展を行った企業はなし。 ■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。 <p>②大規模展示会共同出展事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■出展展示会：第25回機械要素技術展 ■会期：令和3年2月3日～5日 ■共同出展社数：5社 	
成果目標	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①12.5% ②7%				
4	総合計画の位置付け（分野別）	分野 商工・物流	進捗率等 R3.3.31 現在	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①12.5% ②7%	
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	① 新型コロナウイルスの影響により、令和元年度末から令和2年度前半にかけて開催される展示会・見本市の絶対数が少なかったため予算の執行率は低くなったが、販路開拓は業績回復を目指す市内企業の課題であるため、補助要件の緩和等により引き続き支援を行っていく。	
	施策	新市場・販路開拓に対する支援		② 会期中の共同出展企業の積極的な営業活動により、目標値を大きく上回った。今後も引き続き、共同出展を通じた市内企業の販路開拓を支援していくとともに、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、市内企業の商談成約に向けたブース運営を検討していく。	
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他（特記事項）		

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和２年度		
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （１）アンテナショップ開設事業	予算額	20,000 千円		
			決算額	13,403 千円		
	事業概要	本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。 (1)アンテナショップ開設事業 しずおか中部５市２町中枢連携都市圏事業として首都圏にアンテナショップを開設し、特産品等をPRするとともに、テストマーケティングの場として販路開拓支援を行います。	取組状況	事業結果	アンテナショップ開設の後継事業として、しずおか中部連携中枢都市圏（静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町）事業として、首都圏への販路拡大事業（①テストマーケティング ②BtoB（シエフと生産者）マッチング③イベント）を実施することとした。 新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏でのイベント実施は中止したが、テストマーケティングでのフィードバックを丁寧に行ったことにより、出品者の商品改良等につながった。	
	成果目標	0				
	5	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	(%)
			政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	引き続き、４市２町での連携を図っていく。また、出品のテーマ設定について、より多くの事業者が積極的に参加できるよう工夫するとともに、消費者を巻き込んだ情報発信などより効果的なプロモーションに努める。
		施策 新市場・販路開拓に対する支援				
	産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	引き続き、４市２町での連携を図っていく。また、出品のテーマ設定について、より多くの事業者が積極的に参加できるよう工夫するとともに、消費者を巻き込んだ情報発信などより効果的なプロモーションに努める。
		政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策 新市場・販路開拓に対する支援						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企画係	その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和２年度				
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （２）ホビー産業育成支援事業		予算額	4,126 千円			
				決算額	342 千円			
	事業概要	<p>本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。</p> <p>(2)ホビー産業育成支援事業 本市が全国に誇るホビー産業を戦略産業として選定し、「ホビーのまち静岡」の認知度向上を図るため、首都圏にてプロモーションイベントを開催します。</p>	取組状況	事業結果	<p>新型コロナウイルスの影響により主にPRを予定していた静岡ホビーショーについては、一般公開日が中止となり、また首都圏にて緊急事態宣言等が発動しており、プロモーションイベントの開催はできなかった。「しずチカ」を活用し、プラモデルメーカーと連携し、「ホビーのまち静岡」、「模型の世界首都静岡」のPR展示を行った。</p>			
	成果目標	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%						
	5	総合計画の位置付け(分野別)	分野	観光・交流	進捗率等	R 3. 3. 31 現在	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%	81 (%)
			政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、首都圏へのプロモーションの手法について、従来の方法を見直し、コロナ禍においても効果的に行えるプロモーション方法を検討していく。</p>	
			施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり				
	産業振興プラン位置付け	分野	観光・交流	<p>静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します</p> <p>模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり</p>				
		政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します					
施策		模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)					

事業 5	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和２年度		
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （３）伝統工芸品等の展示販売会		予算額	5,411千円	
				決算額	0千円	
	事業概要	<p>本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。</p> <p>(3)伝統工芸品等の展示販売会 本市伝統工芸品等のPRや販路開拓支援、消費者ニーズの把握等を目的とし、都内（御徒町の「2k540」やJR新宿駅西口広場等）で展示販売会を開催します。また、本市が直接出展する全国規模の見本市等(首都圏以外も含む)においても積極的に伝統工芸品のPRに努め、販路開拓の支援に努めます。</p>		取組状況 事業結果	<p>■静岡市伝統工芸品展(御徒町2k540) 新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>■静岡市特産品東京展示会(新宿西口) 新型コロナウイルスの影響により中止</p>	
	成果目標	新柄新型コロナウイルスの影響により中止				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R3.3.31現在 新柄新型コロナウイルスの影響により中止 — (%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■(2k540)参加者数(職人)が減少傾向にある。出展者は個人職人がほとんどであるため、展示会アテンド等の負担が大きく、特に売上との兼ね合いで小物商品生産者は出展が厳しくなる傾向にあり検討が必要。</p> <p>■(新宿展)来場者の多くが60歳以上の方であり、若年層の来場は少ない。開催時間帯の関係もあるが、若年層にも展示会を知っていただけるようSNSを使った広報手段の検討が必要。</p>
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	
施策		新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他(特記事項)	両展示会とも新型コロナウイルスの影響により中止となった		

事業 6	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和２年度		
	事業名	事業 6 地場産品の販路開拓・販売促進 (1)駿府楽市によるP R・販売促進支援		予算額	27,183 千円	
				決算額	26,718 千円	
	事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(1)駿府楽市によるP R・販売促進支援 JR静岡駅構内に立地する駿府楽市で、本市地場産品を市民や来静者へP Rし、地場産品の愛用促進と販路開拓を押し進めます。</p>		取組状況	事業結果	
	成果目標	隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 24,597千円				<p>■ JR静岡駅アステ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間23回の展示会を開催した。</p> <p>・R2来場者数：166,580人</p> <p>・隣接する駿府楽市での工芸品のR2年間売上金額：24,988千円</p> <p>■ 静岡市特産品展示コーナーに係る運営業務委託、内外装等修繕、什器購入、空調保守、清掃、玄関マット賃借の実施</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R 3. 3. 31 現在	隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 24,597千円	24,988千円	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		<p>・コロナ禍で来客数及び売上金額が減少すると予定していたが、インテリア商品や雛祭りなどの季節イベント商品などといった、充実したおうち時間を提案する企画展示を開催したことで、当初目標の売上金額を上回ることができた。</p> <p>・来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するために、効果的な新型コロナウイルス感染症対策を図るとともに、ウィズコロナ時代に適したPR方法を検討していく。</p>		
	施策	新市場・販路開拓に対する支援				
	産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		<p>・来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するために、効果的な新型コロナウイルス感染症対策を図るとともに、ウィズコロナ時代に適したPR方法を検討していく。</p>
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業 6	ものづくり 基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和２年度		
	事業名	事業6 地場産品の販路開拓・販売促進 (2)「しずおか特産品まつり」開催による販売促進 支援		予算額	4,345 千円	
				決算額	3,577 千円	
	事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(2)「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援 多くの市民が行き交う青葉シンボルロードにおいて、職人自らが実演販売・展示販売を行うことで、多くの市民の目に触れる機会を創出し、本市の優れた伝統工芸品に対する市民の誇りと愛情を醸成します。</p>		取組 状況 事業結果	<p>■しずおか特産品まつり「春の市」は、2日間開催予定のところ荒天のため1日のみの開催となった。また、コロナ下において飲食出展縮小などの制約を設けたため、来場者数は例年を大きく下回った。 春の市来場者数：900人</p> <p>■しずおか特産品まつり「秋の市」は、コロナ下において、会場規模縮小、開催時間短縮、飲食出展中止などの制約を設けたため、来場者数は例年を大きく下回った。 秋の市来場者数：1,600人</p> <p>■しずおか特産品まつり「秋の市」を、当初予定より大幅に縮小したため、急速、しずおか特産品まつり「冬の市」を静岡浅間神社で開催することとした。大神楽祭（主催：文化財課）と同日開催とし集客に期待していたが、新型コロナウイルス感染防止対策上の懸念から、イベント中止とした。</p>	
	成果目標	平均来場者数 1,670人				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等 R3.3.31 現在	平均来場者数 1,670人 1,250人
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	産業振興 プラン 位置付け	施策	新市場・販路開拓に対する支援		事業 評価 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>■来場者は、リピーターの割合が高かった。定着的なイベントとして認識され始めているため、ウィズコロナ時代にあってもコンスタントにイベントを継続していきたい。</p> <p>■開催時には、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底し、来場者が安心して鑑賞、購入できるような環境整備を行う。</p>
		分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業 6	ものづくり 基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和２年度		
	事業名	事業 6 地場産品の販路開拓・販売促進 (3)「産業フェアしずおか」開催補助金		予算額	14,550 千円	
				決算額	14,550 千円	
	事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(3)「産業フェアしずおか」開催補助金 産業フェアしずおかの開催に対して助成することで、伝統工芸品の良さを再認識してもらい、「買ってもらい（販売促進）」、「販路を拡大」することにより、伝統工芸品を中心に地場産品の振興を図ります。</p>		取組 状況 事業結果	<p>■来場者数：14,800人</p> <p>■コロナ禍で、来場者数は目標値を下回ったが、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を行い、産業フェアを開催したことで、本市の地場産品をPRすることができた。</p>	
	成果目標	目標来場者数における実際の来場者数の割合				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率 等 R3.3.31 現在	目標来場者数における実際の 来場者数の割合 46 (%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	新型コロナウイルス感染症の対策としてキャッシュレス決済の導入や地場産業ゾーンに特化した満足度調査等が必要である。
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業 7	ものづくり 基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和２年度		
	事業名	事業 7 中小企業の海外展開に対する支援 (1)国際食品見本市の出展等による支援		予算額	3,132 千円	
				決算額	2,568 千円	
	事業概要	(1)国際食品見本市の出展等による支援 市内中小企業等の海外展開に際し、国際食品見本市の出展や海外販路を有する国内商社との個別商談会等の開催を通じて、直接輸出、間接輸出の両面から独自で取り組んでいけるよう支援します。		取組 状況	事業結果 ①FOODTAIPEI見本市中止により、実施せず ②コロナ禍により内容を変更し、輸出の基礎知識の勉強会、成功者の事例紹介、台湾、香港のJETRO事務所とのオンラインセミナーなどを実施。またオンライン商談が増えているため、オンライン商談用の資料作成や、ZOOMの使い方なども紹介し、台湾の現地商社、国内商社2社とオンライン商談を実施した。 結果15件商談成約。	
	成果目標	見本市 - 間接輸出 商談成約12件				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R 3. 3. 31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	見本市 - 間接輸出 商談成約12件 15 (件)
施策		新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流				
産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	
	施策	新市場・販路開拓に対する支援				
		新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)			

事業 7	ものづくり 基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和２年度		
	事業名	事業７ 中小企業の海外展開に対する支援 (2)海外で開催される見本市への出展助成等		予算額	14,440 千円	
				決算額	4,499 千円	
	事業概要	(2)海外で開催される見本市への出展助成等 中小製造事業者の海外における販路開拓支援や製造業の振興・発展を図るため、海外で開催される展示会・見本市等への出展や開催に対して助成します。		取組状況	事業結果 大規模展示会出展等事業補助金 ■申請件数：33件 ■うち、海外展示会への出展を行った企業数はなし。 ■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。	
	成果目標	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）-%				
	総合計画の位置付け（分野別）	分野	商工・物流		進捗率等	R3.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）-% (%)
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	令和２年度においては、新型コロナウイルスの影響により、海外展示会の中止や海外渡航の制限等により、海外展示会に出展する企業がなかった。 令和３年度以降については、海外渡航に関する制限の状況等を確認しつつ、経済の回復期に向けた支援を検討していく方針。
施策		新市場・販路開拓に対する支援				
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和２年度		
	事業名	事業 8 新商品開発等に対する支援 (1)新商品開発に対する助成		予算額	7,500 千円	
				決算額	3,742 千円	
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(1)新商品開発に対する助成 中小製造事業者を対象に、新商品等の開発に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の開発意欲の向上や製造業の振興・発展を図ります。</p>		取組状況	<p>事業結果</p> <p>①開発事業 ■申請件数：4件 ■採択件数：3件</p> <p>②改善事業 ■申請件数：5件</p> <p>採択企業に対しては、試作品の完成に向け随時フォローアップを行い、全ての事業を年度内に完了することができた。併せて産業財産権出願事業補助金の活用も推進し、企業競争力の強化につなげた。</p>	
	成果目標	新商品等開発支援件数 13件				
	8	分野	商工・物流		進捗率等	R 3. 3. 31 現在
		総合計画の位置付け(分野別)	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>新型コロナウイルスの影響により低迷した業績回復に向け販路開拓と商品の開発は事業者の主要課題である。支援機関等を通じた周知の強化に努める。</p>
			施策 新製品・技術開発等に対する支援			
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 新製品・技術開発等に対する支援</p>				
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)		

ものづくり基本計画		方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和２年度	
事業名	事業８ 新商品開発等に対する支援	予算額	6,437 千円		
	(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援	決算額	4,692 千円		
事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 デザイナー等とのものづくり産業の事業所等をマッチングさせ、両者の協働によって新商品等を開発する「ニューウェーブしずおか開発事業」や「しずおかMIRAI designプロジェクト」を実施し、新商品開発の促進を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■（ニューウェーブしずおか創造事業） 地元の意欲的地場産業者が参加し、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施。試作を行い、P R ツール等を作成しつつHP等で告知し、「つなぐデザインしずおか静岡展示会」に出展。販路開拓を実施した。 参加事業者：６者 公募デザイナー：６者 開発点数：22点 展示会開催：１回（首都圏は新型コロナウイルスの影響で出展中止）</p>	
成果目標	(ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数30点				
総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	(ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数30点 22 (点)	
	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■（ニューウェーブ） 開発点数は開発内容により大きく左右されるため開発は十分に実施されている。今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。</p>	
	施策 新製品・技術開発等に対する支援				
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■（ニューウェーブ） 開発点数は開発内容により大きく左右されるため開発は十分に実施されている。今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。</p>	
	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	施策 新製品・技術開発等に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係 産業政策課 新産業係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和２年度			
	事業名	事業８ 新商品開発等に対する支援 (3) 専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施		予算額	75,469千円の一部 千円		
				決算額	73,666千円の一部 千円		
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(3) 専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施 専門家による指導のもと、中小企業が新商品開発から販売まで一貫したマーケティング手法を学ぶ「静岡おみやプロジェクト」により、新商品開発のノウハウ習得等を支援します。</p>		取組状況	事業結果 【静岡おみやプロジェクト】 ・プロジェクト期間 令和元年6月中旬～令和２年３月末 ・上限枠：6社 ・マーケティング戦略に基づいた6商品が2月時点で完成。		
	成果目標	0					
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R1.3.31 現在	100 (%)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	新製品・技術開発等に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、発表会をオンラインで実施。商品を手にとれないため、通常時にはバイヤーとの商談を併せて行うが、R2では実施できなかったため、創意工夫が必要である。	
	分野	商工・物流					
	産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	新製品・技術開発等に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和２年度			
	事業名	事業９ 産業財産権出願に対する助成		予算額	1,300 千円		
				決算額	1,243 千円		
	事業概要	<p>産業財産権の出願に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の技術開発等の意欲向上や産業財産権保護の必要性に対する意識啓発を図ります。</p> <p>また、日本貿易振興機構（JETRO）では海外における知的財産権の保護に関する相談を受け付けているため、市内企業等から相談があった場合には窓口を案内するなど、連携した支援を実施していきます。</p>		取組状況	事業結果	<p>静岡県発明協会や市内の弁理士と連携し、市内中小製造事業者の技術保護に対するニーズに応えることができた。</p> <p>また、外国出願に対する問い合わせに対しては、日本貿易振興機構（JETRO）静岡情報センターと連携を図り、支援につなげた。</p> <p>■特許出願 : 2件 ■実用新案登録出願 : 11件</p>	
	成果目標	産業財産権出願支援件数 13件					
	9	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R2.3.31 現在	産業財産権出願支援件数 13件 (%)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	新商品・技術開発等に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	産業財産権出願に対する需要は底堅く、引き続き静岡県発明協会と連携を図り、補助制度を活用しながら企業の積極的な産業財産権出願を促進することで、市内製造業の技術保護につなげたい。	
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流				
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他 (特記事項)					

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度				
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (1)事業高度化機械設備設置事業補助金		予算額	80,000 千円			
				決算額	76,272 千円			
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(1)事業高度化機械設備設置事業補助金 中小製造事業所に対し、生産性の向上に資すると認められる機械設備設置経費に対する助成を行うことにより、地域の産業の活性化及び高度化を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	<p>■補助金交付件数：35件 ■補助金交付金額：76,272千円</p> <p>企業や金融機関からの問い合わせに対しては、早期に対応し、積極的に訪問活動を実施。申請の支援を行うとともに事業課題のヒアリング等も実施、本補助金以外の支援にもつなげられるよう活動を行った。</p>		
	成果目標	機械設備設置件数 30件						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R3.3.31 現在	機械設備設置件数 30件	35 (件)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内中小製造事業者に対してより効果的な支援を行うため、補助率を5%から10%に引き上げた。製造業全体において加工技術の高度化が急速に進み、この傾向に対する機械設備の最新化による対応が市内事業者の課題となっている。ニーズヒアリングにより需要の掘り起こしを図っていく。	
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化					
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流					
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)					

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (2)現場改善支援事業		予算額	64,117千円のうちの一部	
				決算額	64,117千円のうちの一部	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(2)現場改善支援事業 市内中小企業が抱える経営課題の解決に向け、企業OBを中心とした経験豊かな専門アドバイザーを派遣し、現場作業改善（5S）や技術力向上、製品の高付加価値化を支援するほか、AIやIoTに関する相談等についても支援します。</p>		取組 状況 事業結果	<p>■現場改善支援事業所数：16事業所</p> <p>■成果発表会：中止</p>	
	成果目標	現場改善支援事業所数				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R3.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	<p>現場改善支援事業所数 16 者</p>
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
	産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>・業務改善の取組みが一時的にならないように支援を受けた企業に定着させるため、業務改善が自走できる人材組織体制を構築する支援も必要となっている。</p>	
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
		担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係			その他 (特記事項)

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定		予算額	- 千円	
				決算額	- 千円	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定 先端設備等導入計画について市が認定を行い、取得した先端設備について、初年度から3年分の固定資産税軽減措置を受けることができるほか、認定を受けた企業が中小企業融資制度を利用するときには、信用保証料の一部を補助します。</p>		取組状況	事業結果 ■新規認定件数：73件 ■変更認定件数：36件	
	成果目標	新規認定件数 150件				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗率等 R3.3.31 現在	新規認定件数 150件 73 (件)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業評価 次年度に向けた改善点・ 目標の未達成理由等	今後も適切に認定事務の執行をする。
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度				
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (4) I T技術の活用・促進に関する検討		予算額	6,800 千円			
				決算額	6,765 千円			
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(4) I T技術の活用・促進に関する検討 I T技術導入に対する状況や姿勢は企業によって差があるため、静岡県 I o T活用研究会や静岡商工会議所の I T支援プロジェクトチーム等と連携しながら、きめ細かな支援策について検討を進めます。</p>		取組 状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡商工会議所と連携してITなんでも相談窓口を設置。 ■窓口相談、巡回指導、セミナーを実施し、IT導入の促進並びに支援に努めた。 		
	成果目標	IT導入に関する支援件数 目標150件						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R 3 . 3 . 31 現在	IT導入に関する支援件数 目標150件	360 (件)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	ポストコロナのビジネスモデルに対応すべく、デジタル活用に向けた相談ニーズが多く見込まれる。このことから、各種デジタル関連の支援体制の強化を図っていく。	
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化					
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流					
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)					

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度		
	事業名	事業11 事業承継に対する支援		予算額	8,000 千円	
				決算額	7,920 千円	
	事業概要	<p>市内中小企業が円滑な事業承継を行うことは、次世代に技術やノウハウを引き継ぐとともに、雇用を確保し、市内経済活動への貢献を続けることにもつながるため、国の動きに連動するとともに、関係機関と連携のもと、事業承継の支援体制を強化します。</p> <p>(1)相談及び相談者の課題等に応じた専門家の選定等 (2)専門家の派遣 (3)啓発セミナーの開催及びチラシ等による周知</p>		取組状況	事業結果	<p>■静岡商工会議所との連携により、事業承継に係る支援体制を構築。 ■経営者等への啓発をはじめ、事業承継に関する相談及び専門家派遣の支援を行った。</p>
	成果目標	専門家派遣を通じた支援件数 80件				
	11	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R3.3.31 現在	専門家派遣を通じた支援件数 80件	83 (件)
	産業振興プラン位置付け	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	事業承継の必要性を感じていない潜在的な事業承継ニーズを顕在化すべく、啓発セミナーや巡回等の支援を市内事業者に行っていく。		
		施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化				
		分野 商工・物流				
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度				
	事業名	事業12 中小企業融資制度による支援		予算額	169,884 千円			
				決算額	95,026 千円			
	事業概要	<p>市内中小企業が経営上必要な資金を金融機関からの融資を受ける際、利息及び保証料の一部を助成します。</p> <p>(1)各貸付金に対する利息補給 (市内16取扱金融機関に対し、上期・下期に利息補給)</p> <p>(2)小規模事業者経営改善（マル経）資金に対する利息補給 (借入者の委任を受けた商工会等に対し、年1回利息補給)</p> <p>(3)信用保証料に対する保証料補給 (静岡県信用保証協会の信用保証料の一部を補給)</p>		取組状況	事業結果	<p>【中小企業融資制度】</p> <p>■3年間実質無利息の新型コロナウイルス関連の県制度融資の利用により市制度融資の利用は減少したが、県制度融資では対応できない創業支援資金8件、短期経営改善資金326件、産業振興資金127件の受付実績の成果があった。</p>		
	成果目標	融資制度申込件数 1,000件						
	12	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	融資制度申込件数 1,000件	490 (件)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>・新型コロナ関連の県制度融資は、時限的措置のため、終了後は市制度融資の利用が見込まれる。</p> <p>・事業者や金融機関からの情報収集により、時勢や状況に応じたより良い融資制度に向け、見直しを図っていく。</p> <p>・各制度融資、保証料補給事業等、市内事業者のためになる市の施策を説明会などを利用して引き続き周知していく。</p>		
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流					
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)					

事業 13	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度		
	事業名	事業13 企業OB人材等の活用	予算額	1,700 千円		
			決算額	1,569 千円		
	事業概要	企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取り組みを推進します。	取組 状況	事業結果	<p>■新現役交流会の開催</p> <p>経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名：第3回 静岡市新現役交流会 ・日時：令和2年10月16日（月）10:00~17:30 ・場所：静岡会場 静岡市産学交流センター ：首都圏イノベーションセンターMICAN ・参加企業数：20社 ・参加新現役数：96名 ・延べ面談数：111回 ・マッチング率：11社/20社≒55% 	
	成果目標	マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野 商工・物流	進捗 率等	R3.3.31 現在	マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）	55 (%)
	産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	新型コロナウイルスの影響により、対面での交流会が困難であるため、Zoomを活用したオンライン面談にて実施。その結果、参加した新現役は96名と過去最大となった。多くの新現役が交流会に参加することがマッチング率や満足度の増加に繋がることから、次年度もオンライン面談での実施とし、交流会当日に起こり得るトラブルへの対策と新現役参加に繋がる周知活動にも注力していきたい。
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
分野		商工・物流				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他 (特記事項)				

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度				
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (1)CSR活動表彰事業		予算額	0千円			
				決算額	0千円			
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会 で企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(1)CSR活動表彰事業 事業活動の維持拡大と社会的健全性のある経営を実践する中小企業を表彰することで、当該企業の企業価値の向上、経営基盤や競争力の強化を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	コロナのため未実施		
	成果目標	コロナのため未実施						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R3.3.31 現在	コロナのため未実施 (%)	
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	-
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化					
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	-	
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)		-			

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度		
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (2)中小事業者技術表彰事業		予算額	987 千円	
				決算額	275 千円	
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会 で企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乘せします。</p> <p>(2)中小事業者技術表彰事業 新規又は独創性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を展開している中小製造事業所を表彰することにより、技術開発意欲の向上等を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和２年度は経済局全体で表彰事業を取りやめることとし、中小事業者技術表彰事業も実施しなかった。 そのため、令和２年度の支出は、静岡ビジネスレポートに令和元年度を受賞企業を掲載したことによるPR広告費のみ。</p>	
	成果目標	受賞事業者が広報された件数 -件				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R 3. 3. 31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	受賞事業者が広報された件数 -件 %
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	分野	商工・物流				
	産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	<p>■企業付加価値の向上を図るため、表彰制度や受賞事業者の効果的なPR方法の検討を行い、更なる周知と応募事業者の発掘に取り組んでいく。次年度は表彰事業の実施を再開する。</p>
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
分野		商工・物流				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度			
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業		予算額	1,524 千円		
				決算額	64 千円		
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会 で企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乘せします。</p> <p>(3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 主に女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取組む企業を表彰することで、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、表彰事業を中止した。	
	成果目標	表彰企業数 0 件					
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進 捗 率 等	R3.3.31 現在	表彰企業数 0 件 (%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事 業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	コロナ禍においても多様な人材の活躍推進に取り組んだ企業の取組を広く発信できるよう、受賞企業の取組の効果的な周知方法について検討していく。また、感染拡大防止に注意した表彰式の実施方法を検討する。
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)				

ものづくり基本計画		方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度	
事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (1)「ホビ－のまち静岡」推進事業	予算額	73,548 千円		
		決算額	49,124 千円		
事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(1)「ホビ－のまち静岡」推進事業 本市の地域資源であるホビ－を活用し、「ホビ－のまち静岡」として市内外に情報発信することで、市のブランド化及び地域経済の活性化を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ホビ－推進協議会静岡が実施するホビ－のまち静岡推進事業（静岡ホビ－スクエアの運営等）に対し、補助金の交付等支援を実施 補助金交付 1件 ・静岡ホビ－スクエアの維持管理業務の実施 施設修繕 3件 ・ものづくり教育推進事業としてプラモデルをテーマにした座学とプラモデル工作出前授業を実施 市内小学校13校 	
成果目標	<p>①「ホビ－のまち静岡」の認知度30%</p> <p>②静岡ホビ－スクエア来場者数35,019人</p> <p>③プラモデルが好きになった児童の割合90%</p>				
15	総合計画の位置付け(分野別)	分野 観光・交流	進捗率等 R3.3.31 現在	<p>①「ホビ－のまち静岡」の認知度30%</p> <p>②静岡ホビ－スクエア来場者数35,019人</p> <p>③プラモデルが好きになった児童の割合90%</p>	<p>81 (%)</p> <p>22,704 (人)</p> <p>84 (%)</p>
	政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を見極めた内容、時期及び対象を見極め、模型メーカーや関係機関と連携し、効果的なシティプロモーション推進に取り組んでいく。	
	施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり			
	産業振興プラン位置付け	分野 観光・交流			
政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度	
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (2)地域産業振興ブランド認証事業	予算額	3,562 千円	
			決算額	3,273 千円	
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(2)地域産業振興ブランド認証事業 市民投票で「100年先まで大切に残していきたい逸品」として選ばれた商品を「しずおか葵プレミアムAWARD」として認証し、PRや企業支援を行うことで、本市のシテプロモーションの推進及び地域経済の活性化を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■PRイベント実績</p> <p>①しずおかPR展示（4/7-26） ②いいねスタンプラリー（抽選プレゼント）（7/1-8/31） ③Cenova 1 階販売会「シズオカエールマーケット」（9/19-22） ④新静岡SALしずおかマルシェ 販売会（9/24-30） ⑤静鉄ストアキャンペーン（11/21-22） ⑥産業フェアしずおか2020（11/28-29）</p>
	成果目標	展示販売会等実施回数 6回			
15	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R3.3.31 現在	展示販売会等実施回数 6回	100 (%)
	産業振興プラン位置付け	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	認定商品の認知度及び売上向上を図るため、販売場所（ECサイト・アンテナショップ等）の確保とPR及び今後の効果的な事業展開のための制度の見直しを実施する。	
		施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係	その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度				
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業	予算額	(協議会への負担金) 1,350 千円				
			決算額	(協議会への負担金) 1,350 千円				
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業</p> <p>中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>(４) H30年度末官民で構成される「オクシズ『漆の里』協議会」を設立。都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、静岡の漆文化-「Shizuoka japan」のブランド化を目指します。</p> <p>【令和２年度実績】※協議会事業実績 (調査事業) 試験植樹、成分分析の実施 (付加価値向上事業) 協議会ロゴマークの作成 (普及啓発・人材育成・情報発信事業) 「オクシズ『漆』の学校」の開催、各種イベントへのブース出展、 協議会Facebookでの情報発信、協議会HPの制作 ほか</p>			
	成果目標	漆植樹面積 0.5ha						
	15	総合計画の位置付け(分野別)	分野	農林水産	進捗率等	R 3 . 3 . 31 現在	1.34ha	268 (%)
政策			多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	市内産漆の地産地消を目指し、植樹事業を含む協議会の各種事業を計画的に展開しながら事業のブランド化を図ることで、市民や民間企業等の理解を深めると共に事業継続のための資金開発に繋げていきます。	
施策		地域資源を活かした新しい産業の創出						
産業振興プラン位置付け		分野	農林水産	政策	多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します		施策	地域資源を活かした新しい産業の創出
担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係		その他(特記事項)	※H31～R3 農水省山村活性化振興交付金事業				

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和２年度			
	事業名	事業16 地場産品の情報発信・愛用推進		予算額	290,246千円		
				決算額	283,451千円		
	事業概要	<p>JR静岡駅構内の駿府楽市と郊外に立地する駿府匠宿において、本市の伝統工芸品を中心とした地場産品の展示や各種PRによる情報発信を行います。</p> <p>なお、駿府匠宿の現状は、来場者数は減少傾向にあり、伝統工芸の情報発信拠点としての役割が弱くなっています。このような状況を改善するため、経営面からのアプローチ、あり方からのアプローチを行い、伝統工芸の振興と持続可能な施設運営を目指しているところです。</p>		取組状況	事業結果	<p>■ JR静岡駅アステイ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間23会の展示会を開催した。（静岡市特産品展示コーナーに係る運営業務委託、内外装等修繕、什器購入、空調保守、清掃、玄関マット賃借の実施）</p> <p>・R2来場者数：166,580人</p> <p>・隣接する駿府楽市での工芸品のR2年間売上金額：24,988千円</p> <p>■ 駿府匠宿 来場者数 57,050人 駿府匠宿 利用者満足度 99.6%</p> <p>■ 施設のあり方を検討した結果、伝統工芸への直接的な訴求でなく、間接的なアプローチにより創作体験の利用へ繋げる手法により、創作体験者の増加を目指す方針へ転換。そのため、令和3年度からは施設の目標を「来場者数」から「創作体験者数」に変更し、「伝統工芸を身近に感じ、未来に繋ぐ」を目指す施設の姿とした。</p>	
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額24,597千円 駿府匠宿来場者数 270,000人 駿府匠宿利用者満足度 90%以上 					
	16	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	<p>隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額24,597千円</p> <p>24,988千円 (%)</p> <p>①駿府匠宿来場者数 270,000人</p> <p>57,050人 (%)</p> <p>②当該施設利用者満足度 90%以上</p> <p>99.6%</p>
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>
		施策	新市場・販路開拓に対する支援				
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化
			政策				
施策			中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度				
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (1)駿府匠宿での地場産品体験学習事業		予算額	5,826 千円			
				決算額	3,579 千円			
	事業概要	<p>本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>(1)駿府匠宿での地場産品体験学習事業 小学生に、ものづくりと地場産品に対する興味を喚起することで地場産業のPRと将来の後継者育成につなげます。</p>		取組状況	事業結果			
	成果目標	目標申込児童数における実際の申込児童数の割合				<p>■申込児童数：2,126人</p> <p>■コロナ禍で、学校からの体験学習事業の申込件数が減少したが、本事業を各学校へ申込案内等の再通知をすることに加え、校長会や教育センターに体験学習に関して情報共有することにより周知を図るとともに、受け入れ体制の状況や地場産品体験学習における新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題を共有するために駿府匠宿との連絡を密にするなど、より多くの児童に体験学習してもらうための対策を行った。</p>		
	17	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	目標申込児童数における実際の申込児童数の割合	66 (%)
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	令和3年度から指定管理者が変わり、開館時間等変更が生じている部分が多いので、学校や関係機関との連絡を密にし、申込時に混乱がないよう調整する。また、未実施校や一昨年度まで参加していた学校に対しても引き続き明確で効率的な周知を行う。
		施策	次代を担う多様な人材の育成					
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業 17	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (2)ものづくり教育推進事業	予算額	1,000 千円		
			決算額	953 千円		
	事業概要	本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。 (2)ものづくり教育推進事業 小学生が、ホビー産業の歴史等について学び、かつ実際にプラモデルの工作体験をすることによって、ものづくりの楽しさを体験してもらったともに、プラモデルファンを増やし、将来のホビー産業を担う人材の育成に寄与します。	取組状況	事業結果	ものづくりへの関心を高めるとともに、次代のプラモデルファン獲得に向け、市内小学校に対し、プラモデルをテーマにした出前授業を実施。授業を受けた児童の大部分にプラモデルについて関心を持ってもらうことができた。	
	成果目標	プラモデルが好きになった児童の割合90%				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	プラモデルが好きになった児童の割合90% 84 (%)
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	次年度は、プラモデルに加え、その他静岡市を代表するものづくり産業をメニューに加えていくとともに、対象学年に応じ、キャリア教育的観点から学習する内容とものづくりの面白さを学ぶ内容にメニュー化することで、小学校側が教育的な観点に落とし込み能動的に授業を受けとめられるようにしていく。
		施策	次代を担う多様な人材の育成			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		次代を担う多様な人材の育成				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)	次年度はものづくりキャリア教育推進事業と名称を変更する		

事業 17	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (3)こどもクリエイティブタウンでの職場体験等	予算額	87,803のうちの一部 千円		
			決算額	87,803のうちの一部 千円		
	事業概要	本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。 (3)こどもクリエイティブタウンでの職場体験等 主に小学生を対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学びます。	取組状況	事業結果	しごと・ものづくり講座などの各事業において、商店街をはじめとした地元事業者等と連携し、こどもに様々な体験をできる場を提供した。	
	成果目標	年間利用者（こども）				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	年間利用者（こども）： 4,551人
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	施設の利用者の増加に向けて、施設の立地性を活かし、地域（商店街）や企業とのさらなる連携強化を図るとともに、効果的な情報発信に努めていく。 新型コロナウイルス感染症の影響による施設の一時閉館等により、こどもの年間利用者数が大幅に減少した。
		施策	次代を担う多様な人材の育成			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		次代を担う多様な人材の育成				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係	その他 (特記事項)				

事業 17	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (4)プログラミング教育推進事業	予算額	- 千円		
			決算額	- 千円		
	事業概要	本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組めます。 (4)プログラミング教育推進事業 小・中学校におけるプログラミング教育の実施に向けて、教員向けの研修会を行うなど、準備を進めます。	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校プログラミング教育研修会（悉皆研修）５回実施。教科書の内容に即した内容とし、情報モラル分野も取り入れて実施。 ■中学校技術・家庭科（技術分野）において、ネットワークを利用した双方向プログラムについて学ぶ研修を１回実施。 	
	成果目標					
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	子ども・教育	進捗率等	R3.3.31 現在	100 (%)
		政策	学校、家庭、地域が連携し、社会を生き抜く力を持った子どもたちを育てます		事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校プログラミング教育研修会については、目的を達成したため、令和２年度をもって終了。 ■令和３年度の中学校技術分野の研修会は内容を変更して実施。
		施策	教育力の向上			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	産業振興プラン位置付け	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	
施策		次代を担う多様な人材の育成				
担当課等	教育委員会事務局 教育センター 企画係		その他 (特記事項)	令和３年度に担当係を情報教育支援室に移行		

事業 18	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (1)若者の就労支援事業	予算額	988 千円		
			決算額	979 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(1)若者の就労支援事業 就労支援セミナーの開催や、出張相談会・カウンセリング相談を実施することで、働くことに悩む15歳～39歳までの若者（若年無業者）の就労を支援します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■親と若者の就労支援セミナー 開催：2回 参加者：延べ43名</p> <p>■出張相談会 開催：10回 相談件数：延べ16件</p> <p>■臨床心理士による心理カウンセリング 開催：17回 相談件数：延べ70件</p>	
	成果目標	親と若者の就労支援セミナー参加者満足度				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	親と若者の就労支援セミナー 参加者満足度 95.3 (%)
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	引き続き、保健福祉長寿局等関係機関と連携し、対象者の掘り起こしに努めていく。
		施策	次世代を担う多様な人材の育成			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		次世代を担う多様な人材の育成				
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度			
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (2)若者の地元就職・UIターン就職の促進事業			予算額	16,184 千円	
					決算額	14,932 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(2)若者の地元就職・UIターン就職の促進事業 地元就職並びに、UIターンを志す若者をはじめ、市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決を図ることを目的として、若者就活応援サイト「しずまっち」等の様々なツールを活用し、若者が市内企業への就職を将来の選択肢として捉えることができるよう取り組みを推し進めます。</p>	取組状況	事業結果	<p>①交流会等の実施回数 6回 ②就職支援情報誌「静岡で働こう。2021」令和3年1月15日約33,000部発行 ③若者就活応援サイト「しずまっち」令和2年度閲覧数228,138件 ④高校生向けキャリア形成支援プログラム 実施校数延べ10校</p>		
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業への就職関心度 ・将来の選択肢が広がった生徒の割合 					
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業への就職関心度 94 (%) ・将来の選択肢が広がった生徒の割合 97.5 (%)
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
		施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>		
		産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出</p>			引き続き、高校生など早期のキャリア形成に取組むとともに、同窓会就職支援情報誌としずまっちの回遊性を高め、相乗的に市内企業への関心度の向上を図っていく。	
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)				

事業 18	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (3)企業OB人材等の活用【再掲】	予算額	1,700 千円		
			決算額	1,569 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(3)企業OB人材等の活用【再掲】 企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取組を推し進めます。</p>	取組状況	事業結果	<p>■新現役交流会の開催 経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名：第3回 静岡市新現役交流会 ・日時：令和2年10月16日（月）10:00~17:30 ・場所：静岡会場 静岡市産学交流センター ：首都圏イノベーションセンターMICAN ・参加企業数：20社 ・参加新現役数：96名 ・延べ面談数：111回 ・マッチング率：11社/20社≒55% 	
	成果目標	マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） 55（%）
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>新型コロナウイルスの影響により、対面での交流会がこんなんであるため、Zoomを活用したオンライン面談にて実施。その結果、参加した新現役は96名と過去最大となった。このことを踏まえ、次年度もオンライン面談にて実施。多くの新現役が交流会に参加することがマッチング率や満足度の増加に繋がることから、交流会当日に起こり得るトラブルへの対策と新現役参加に繋がる周知活動に注力し、次年度の交流会に備えていきたい。</p>
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (4)高齢者就労促進事業	予算額	30,000 千円		
			決算額	30,000 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(4)高齢者就労促進事業 高齢者向けの就労相談窓口を新たに設置するなど、多くの元気な高齢者が、健康長寿で地域や経済において活躍できる環境を整備します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■行政、経済界、福祉団体等と官民連携して、令和元年6月静岡庁舎2階にオープンしたシニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」を中心に、個別相談、求人開拓等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口での個別相談件数 延1,232件 ・訪問企業数 135社 ・シルバー人材センター新規会員登録者数 83名 ・窓口による事業利用満足度 99.0% ・窓口認知度 32.1% 	
	成果目標	高齢求職者の雇用・就業数 100名/年				
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R 3. 3. 31 現在
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	<p>高齢求職者の雇用・就業数 100名 183名</p>
			施策	若者や女性、高齢者、障がい者などの雇用機会の創出		
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	<p>次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等</p>	<p>・コロナウイルス感染症の影響でシニア向け求人数が少ない状況が続いているが、目標達成に向けて求人開拓を進める必要がある。そのため、コロナ禍においてもハローワーク等で求人募集があった企業等に対し、ダイレクトメールでシニアの雇用意向に関するアンケートを送付し、その後の訪問を重ね、1件1件開拓を進めていく。</p> <p>・令和2年度はメディアへの露出が減少したこともあり、PRが十分ではなかったため、今後コロナ禍においても窓口のPR、情報発信を積極的に行い、利用者数を増やす必要がある。出張相談会等の小規模イベントを増やし、実施時には市の広報ツールや求人誌の広告枠等を活用するほか、インターネットユーザーに向けた広告を試験的に実施するなど、効果的なPR方法を検討していく。</p>	
			政策			次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります
施策			若者や女性、高齢者、障がい者などの雇用機会の創出			
担当課等	保健福祉長寿局 福祉総務課 生涯活躍推進室		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (5)女性活躍ブランド認定事業	予算額	414 千円		
			決算額	280 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(5)女性活躍ブランド認定事業 企業等において女性が企画・開発した商品等のうち、先駆性の高い優れたものを女性活躍ブランドとして認定し、女性活躍の好事例として広く情報発信することで、女性のモチベーションアップや周辺企業への女性活躍の取組波及等、女性の活躍推進を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■認定件数：8件</p> <p>■情報発信実績： （１）イベント出展・展示 ・ラジオ出演（計13回） ・庁内外における展示（計3回） （２）各種メディア ・テレビや新聞、HP等様々な報道手段による「見える化」 ・認定商品紹介冊子の作成</p>	
	成果目標	—				
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		
施策		良質な就労環境の創出	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	令和２年度に引き続き、令和３年度も新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントの延期や中止が予想されていることから、その他のPR方法の充実を模索していく。	
		政策				
	施策	良質な就労環境の創出				
担当課等	市民局 男女共同参画課 男女共同参画係	その他 (特記事項)				

事業 18	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (5)女性活躍ブランド認定事業	予算額	414 千円		
			決算額	280 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(5)女性活躍ブランド認定事業 企業等において女性が企画・開発した商品等のうち、先駆性の高い優れたものを女性活躍ブランドとして認定し、女性活躍の好事例として広く情報発信することで、女性のモチベーションアップや周辺企業への女性活躍の取組波及等、女性の活躍推進を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■認定件数：8件</p> <p>■情報発信実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> （１）イベント出展・展示 ・ラジオ出演（計13回） ・庁内外における展示（計3回） （２）各種メディア ・テレビや新聞、HP等様々な報道手段による「見える化」 ・認定商品紹介冊子の作成 	
	成果目標	—				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	—	(%)
	産業振興プラン位置付け	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	令和２年度に引き続き、令和３年度も新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントの延期や中止が予想されていることから、その他のPR方法の充実を模索していく。
施策		良質な就労環境の創出				
分野		商工・物流				
担当課等	市民局 男女共同参画課 男女共同参画係	その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度	
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (6)首都圏の女子学生を対象とした就労支援	予算額	- 千円	
			決算額	- 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(6)首都圏の女子学生を対象とした就労支援 首都圏へ進学した女子学生を対象に、静岡市内で活躍する女性との交流会を開催し、市内での就職を促進します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■ 1回開催 オンライン開催（当日参加者 県内外大学生1～3年生14人）</p>
	成果目標	就職関心度90%以上			
	18	総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出</p>	進捗率等	R3.3.31 現在
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>コロナ禍においてオンラインで実施したが、アンケートでは「企業ともっと話したかった」との声が聞かれたため、対面による実施を含めコロナ禍における効果的な開催方法を検討する。</p>
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (7)働き方改革の実現に向けた環境整備の推進	予算額	2,500 千円		
			決算額	2,500 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(7)働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 働き方改革に取組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等により、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p><ダイバーシティ経営推進セミナー> ■実施回数 5回 経営者向け 1回（参加者64名）分科会 3種（参加者 9・16・17名） 管理職向け 2回（参加者延べ32名） 従業員向け 2回（参加者延べ30名） ■満足度96.5% 経営者向け 97.3% 管理職向け 100% 従業員向け 92.5%</p>	
	成果目標	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上				
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R 3. 3. 31 現在
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
		施策	良質な就労環境の創出	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上		
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
			政策			
施策		良質な就労環境の創出	新型コロナウイルス感染症の状況によって開催方法を検討し、参加者同士の交流や情報共有の時間を持つことができるような内容とする。また、静岡県等との棲み分けを考慮し、テーマや対象を検討する。			
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業19 若手職人の育成事業	予算額		9,060 千円	
			決算額		4,812 千円	
	事業概要	<p>地場産業界の後継者確保・育成及び新規就業者の定着を図るため、「クラフトマンサポート事業」として財政的な支援を行います。</p> <p>具体的には、短期現場実習、長期現場実習に対する助成に加え、長期現場実習を修了した者を雇用した事業主に対して雇用奨励金を交付する「雇用奨励金交付事業」、新たに職業人として独立した者を対象に建物の賃借料等を補助する「独立支援補助金交付事業」を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>【R2実施状況】</p> <p>①現場実習短期支援事業 新規1名 ②現場実習長期支援事業 新規2名 継続3名 ③独立支援事業 新規1名 ④雇用奨励金 0名</p> <p>・長期支援については、新規2名を含めた5名が利用し、指導者の下、着実に技術を身に付けている。 ・短期支援の新規1名を開始した。期間中の経過が良好のため長期支援に移行した。 ・独立支援は、H29年度以来3年ぶりの利用があった。 ・独立支援は、2名の新規開始を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、1名は利用見送りとなった。</p>	
	成果目標	<p>新規制度利用者数</p> <p>・長期支援2人 ・独立支援0人</p>				
	19	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	<p>新規制度利用者数 ・長期支援2人 ・独立支援0人</p> <p>新規制度利用者数 ・長期支援2人 ・独立支援1人</p>
		総合計画の位置付け(分野別)	<p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 次世代を担う多様な人材の育成</p>	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>・実習者と指導者とのマッチングが課題となっているため、伝統工芸の後継者が着実に増えていくよう、実習者・指導者とコミュニケーションを密に図り、対象者の慎重な選定や新たな指導者の確保に重きを置いて実施していく。</p>
		産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 次世代を担う多様な人材の育成</p>			
	担当課等	<p>経済局商工部 産業性悪課 地場産業係</p>	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業20 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進	予算額	2,500 千円		
			決算額	2,500 千円		
	事業概要	働き方改革に取り組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等、市内企業における仕事と生活の両立や、女性をはじめとした多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。	取組状況	事業結果	<ダイバーシティ経営推進セミナー> ■実施回数5回 経営者向け1回（参加者64名）分科会3種（参加者9・16・17名） 管理職向け2回（参加者延べ32名） 従業員向け2回（参加者延べ30名） ■満足度96.5% 経営者向け 97.3% 管理職向け 100% 従業員向け 92.5%	
	成果目標	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上				
	20	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R3.3.31 現在	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上	90 (%)
	産業振興プラン位置付け	政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	新型コロナウイルス感染症の状況によって開催方法を検討し、参加者同士の交流や情報共有の時間を持つことができるような内容とする。また、静岡県等との棲み分けを考慮し、テーマや対象を検討する。		
		施策 良質な就労環境の創出				
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		方針（6）伝統工芸技術の保存・継承		令和2年度	
事業名	事業21	予算額	950 千円		
	伝統工芸技術の保存・継承 (1)伝統工芸技術アーカイブ事業		決算額	730 千円	
事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(1)伝統工芸技術アーカイブ事業 消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■業界調整により保存対象となる1技術を決定し下記を保存することでアーカイブを実施した</p> <p>技術保持職人による技術工程の映像制作： 1本（Blu-Ray 10枚、DVD20枚） 工程サンプル制作：1セット アーカイブ対象技術：錦塗（駿河漆器） 技術保持者：新井吉雄氏</p>	
成果目標	映像化本数：1本				
21	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	映像化本数：1本 100（%）
	総合計画の位置付け（分野別）	政策	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■技術保有者の健康状態は今後も確実とはいえないため期間を置かず確実な保存を図っていく必要がある。また各業界により後継者数や職人数など事情が異なるため、事情を把握しつつ調整を行っていく。更にアーカイブ技術は各保有職人個人の技術でもあり安易な公開はできないため、保持者との協議もしっかりと行う必要がある。</p>
		施策			
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	政策	次代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
	施策	次代を担う多様な人材の育成			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係	その他（特記事項）			

事業	ものづくり基本計画	方針（6）伝統工芸技術の保存・継承		令和2年度			
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承		予算額	1,890千円		
				決算額	1,233千円		
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(2)伝統工芸保存講習会の開催 本市の地場産業界の人材の育成や確保を図るため、地元伝統工芸業界の若手職人を対象に、伝統工芸技術の保存・継承・技術練磨等にかかる講習会を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■地元熟練職人を講師に、後継者となる若手が受講者となり夜間講習にて開催した 開催部門：木工、拭漆、竹千筋細工、蒔絵（4部門） 参加者：地元業界従事者 23名 ①木工指物の部：令和2年7月～12月（20日間） （受講者）地元木工業界従事者4名 ②駿河竹千筋細工の部：令和2年9月～12月（11日間） （受講者）地元竹千筋細工業界従事者5名 ③拭漆の部：令和2年10月～12月（8日間） （受講者）地元木工業界従事者等5名 ④蒔絵の部：令和2年10月～令和3年3月（20日間） （受講者）地元蒔絵漆器業界従事者等9名 ※漆器の部については新型コロナウイルスの影響により開講を中止</p>		
	成果目標	開催部門：5部門 参加者数：38名					
	21	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	開催部門：5部門 参加者数：38名	開催部門：4部門 参加者数：23名
		総合計画の位置付け(分野別)	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>講師の高齢化による人材不足は避けがたく、中堅職人の選定を増加していく必要がある。また受講者の講座での製作品等の展示会を「産業フェアしずおか」にて開催したところ、受講者のモチベーション向上につながったため、今後も何等かの形で展示の機会を設け参加者の意欲向上につなげていきたい。 開催形式上、蜜になりがちな新型コロナ対策は充分にとられたため、今後も必要に応じ同様の対応をとっていく必要がある。 また、高度な技術継承を求める声もあり、より高度なコースも検討していく。</p>
			施策	次代を担う多様な人材の育成			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流				
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
	施策	次代を担う多様な人材の育成					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業 21	ものづくり 基本計画	方針（6）伝統工芸技術の保存・継承		令和2年度			
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (3)伝統工芸技術秀士の顕彰		予算額	600千円		
				決算額	500千円		
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(3)伝統工芸技術秀士の顕彰 本市の伝統工芸の技術を継承するため優れた技術の保持者を顕彰し、そのPRを行います。</p>		取組 状況	事業結果	■各伝統工芸業界において高度な技術を有し、伝統工芸展等へ積極的に出展し技術研鑽に励む職人は、高齢化等により大幅に減少している現実の中、指定を見送ることとした。	
	成果目標	秀士の指定者数：1名					
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進歩 率等	R3.3.31 現在	秀士の指定者数：1名 0(名)
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
		施策	次代を担う多様な人材の育成				
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	■対象者を広げすぎると指定制度の根幹が曖昧になる危惧があり、安易な拡大には問題がある。今後は中堅職人の中で有望視される職人を模索したいが、それでも人的に限りがあるため、その幅を検討していく必要がある。
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
施策		次代を担う多様な人材の育成					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（6）伝統工芸技術の保存・継承		令和2年度				
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承		予算額	(協議会への負担金) 1,350 千円			
				決算額	(協議会への負担金) 1,350 千円			
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】 中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<p>(4) H30年度末官民で構成される「オクシズ『漆の里』協議会」を設立。都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、静岡の漆文化-「Shizuoka japan」のブランド化を目指します。</p> <p>【令和2年度実績】※協議会事業実績 (調査事業) 試験植樹、成分分析の実施 (付加価値向上事業) 協議会ロゴマークの作成 (普及啓発・人材育成・情報発信事業) 「オクシズ『漆』の学校」の開催、各種イベントへのブース出展、協議会Facebookでの情報発信、協議会HPの制作 ほか</p>		
	成果目標	漆植樹面積 0.5ha						
	21	総合計画の位置付け(分野別)	分野	農林水産	進捗率等	R3.3.31 現在	漆植樹面積 0.5ha	1.34 (ha)
			政策	多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します				
産業振興プラン位置付け		施策	地域資源を活かした新しい産業の創出	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	市内産漆の地産地消を目指し、植樹事業を含む協議会の各種事業を計画的に展開しながら事業のブランド化を図ることで、市民や民間企業等の理解を深めると共に事業継続のための資金開発に繋がっていきます。		
		分野	農林水産					
	政策	多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します						
担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係		その他(特記事項)	※H31～R3 農水省山村活性化振興交付金事業				

事業	ものづくり基本計画	方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和２年度			
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承		予算額	((5)地域おこし協力隊配置に要する経費として) 34,172 千円		
				決算額	((5)地域おこし協力隊配置に要する経費として) 19,099 千円		
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(1)伝統工芸技術アーカイブ事業 消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図ります。</p> <p>(5)地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承 「地域おこし協力隊」は、その地域に居住してもらいながら、最長３年間隊員として地域おこし活動に取り組んでもらうものです。井川地区の活動テーマは「井川メンバの保存・伝承」であり、現在市内に１人しかいない職人の技術を継承するための取組を実施します。</p>		取組状況	事業結果	<p>(1)「オクシズ『漆の里』協議会」事業※として、かつて市内中山間地で行われてきた漆採取技術の保存・継承のため、現在市内唯一の漆掻き職人・高橋康夫氏による一連の作業の映像記録を作成した。</p> <p>※令和元年度実施 ※事業21(4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業</p> <p>(5)令和２年度は、活動拠点を井川に移し、メンバ製作技術を磨きながら、本格的にメンバの製造を開始した。製作したメンバは、産業フェアや共生などのイベントで展示・販売を行った。また、従来の井川メンバに蒔絵を施したオリジナルのメンバが全国伝統的工芸品公募展で入選作品に選ばれるなど、伝統的技術を習得したうえで工夫を凝らした製作活動を実施した。</p>	
	成果目標						
	21	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	(%)
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>
		施策	次代を担う多様な人材の育成				
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		
	担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係		その他 (特記事項)		※(5)地域おこし協力隊隊員任期はR3年度４月末まで。	